機械設備工事特記仕様書（１）

【工事概要】

１　工事場所　　京都府相楽郡和東町大字中小字平田地内

２　建物概要

建物名	構造	階数	延床面積（m^2）	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
体験交流センター	S造・RC造	2	1,376.40㎡		○甲　○乙	
					○甲　○乙	

３　工事科目　　●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目＼建物名称	体験交流センター		
空気調和設備	○	○	○
換気設備	●	○	○
排煙設備	○	○	○
自動制御設備	○	○	○
衛生器具設備	●	○	○
給水設備	●	○	○
排水設備	●	○	○
給湯設備	○	○	○
消火設備	○	○	○
ガス設備	●	○	○
厨房機器設備	○	○	○
浄化槽設備	○	○	○
医療ガス設備	○	○	○
	○	○	○
撤去工事	●	○	○
	○	○	○

【特記事項】

１　一般事項

１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成三十一年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成三十一年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成三十一年版」による。

２）工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

２　特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針◆」（以下、「グリーン調達」という。）の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照　〈http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html〉
	※機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。
	※機材の品質 ・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第１編第1章第４節１.４.２（ｃ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第１０条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	※電気保安技術者	※適用する　　●適用しない
	●技能士（一級）	※配管（配管工事） ○建築板金（ダクト製作及び取付け）　　○冷凍空気調和機器施工
	※工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	※工事用仮設物	構内につくることが　※できる　　○できない
	※足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	※監督職員事務所	※設置しない　　○設置する　（○本工事　　○別途）
	※監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ・機械設備工事監理指針　・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針　・工事写真の撮り方（最新版）-建築設備編- ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	●建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの　【　　】 ●再生資源利用を図るもの【コンクリート殻、アスファルト殻　】 ○特別管理産業廃棄物 ○ＰＣＢ使用機器　○臭化リチウム　○
		●建設発生土の処理 右記のほか、現場説明書による。 ●構外指定地に搬出処理　※（一財）城陽山城砂利採取地整備公社　○ ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適切処理
		○再生資源利用促進計画書等の作成・提出 建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施工計画書に含めて提出する。 また、実績については再生資源利用促進施書として提出する。
		１）「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 ２）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 ３）冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う（家電リサイクル法対象機器を除く）。 （ただし、運搬及び処分費は　※本工事　○別途　とする。）。
		○アスベストの処理等 １）次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 ○アスベスト成形板　○含有　○不含　○要調査（分析資料数：　） ○ダクトパッキン　○含有　○不含　○要調査（分析資料数：　） ○配管エルボ部保温材　○含有　○不含　○要調査（分析資料数：　） ○煙道の断熱材　○含有　○不含　○要調査（分析資料数：　） ２）アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 （ただし、調査費用は　※本工事　○別途　とする。。） ※ＪＩＳ Ａ １４８１「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ○「建材中の石綿含有率の分析方法」（平成１８年８月２１日基発第０８２１００２号及び基安化発第０８２１００１号）による。（石綿含有率５質量%超の場合のみ） ３）アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。

章	項目	特記事項
一般事項	※工事関係書類	和東町の指定部数及び指定書式にて、監督職員と協議の上提出を行う。
	※履行報告	月報　※２部　○３部　　毎月末に〆め、翌月の５日までに提出する。
	※工事写真	１）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。 ２）工事完成時、整理の上、１部提出する。 ３）デジタルカメラで撮影可とする。
	※完成図書	名称／内容／大きさ／部数 ●完成図／／Ａ４版／１部 ●完成図／建築工事と合冊とする。／／２部 ●施工図／建築工事と合冊とする。／／２部 ●機器完成図等／機器製作図　ファイル止め 保守指導案内書（機器取説書を含む） 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書／／Ａ４版／２部 ●諸官庁提出書類／副　本／／１式 ●原図／完成図・施工図／／１部 ●完成写真／アルバム綴り／／２部 電子納品については、現場説明書による。
	※著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	※付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表１による。
	※総合調整 （測定結果は報告書にて提出）	○風量調整（測定共）　●水量調整（測定共）　○室内外空気の温湿度測定 ○室内気流及びじんあいの測定　○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定　○雑用水の水質の測定
共通事項	●耐震施工	１）設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」による。 ２）下記の設計用水平震度（ＫＨ）により、機器製作固定を行う。 設置場所／○特定の施設／●一般の施設 重要機器／一般機器／重要機器／一般機器 上層階、屋上及び塔屋／2.0（2.0）／1.5（2.0）／1.5（2.0）／1.0（1.5） 中間階／1.5（1.5）／1.0（1.5）／1.0（1.5）／0.6（1.0） １階及び地下階／1.0（1.0）／0.6（1.0）／0.6（1.0）／0.4（0.6） 設置場所／○特定の施設／●一般の施設 水槽／水槽 上層階、屋上及び塔屋／2.0／1.5 中間階／1.5／1.0 １階及び地下階／1.5／1.0 注１　耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。 屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注２　（　）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注３　設計用鉛直震度は、設計用水平震度の１／２とする。 注４　上層階の定義は、６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上階２階。 注５　重要機器（水槽類）は、下記に示すものとする。（水槽類にはオイルタンク等を含む。） 【　　】 注６　「建築設備耐震設計・施工指針（２０１４年版）」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、S_A種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。
	●一般用弁	標準仕様書第２編２.２.１（１）～（１２）によるほか、下記による。 １）水道直結部及び図面特記部の耐圧は１０Ｋ以上、その他は５Ｋ以上とする。 ２）給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。
	○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはベローズ形、ＦＲＰに対しては合成ゴム製とする。
	○伸縮管継手 （鋼管用）	鋼管用伸縮管継手は下記による。 ○ベローズ形　○スリーブ形
	○溶接接合	溶接部の非破壊検査は、 ○適用しない ○適用する（○放射線透過検査　○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査）
	●地中埋設標及び埋設表示用テープ	１）給水管　地中埋設標（●要　○不要）　埋設表示用テープ（●要　○不要） ２）消火管　地中埋設標（○要　○不要）　埋設表示用テープ（○要　○不要） ３）ガス管　地中埋設標（○要　○不要）　埋設表示用テープ（○要　○不要） ４）油管　地中埋設標（○要　○不要）　埋設表示用テープ（○要　○不要） ５）ブライン管　地中埋設標（○要　○不要）　埋設表示用テープ（○要　○不要） 用途表示のあるテープ（幅は１５０mm以上）で、２倍長以上重ね合わせて使用する。
	○防食処理	土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。
	●保温	１）保温材の使用は、下記による。 給水管・排水管／●グラスウール保温材　○ 排煙ダクト・煙道、排気筒／○ロックウール保温材　○ その他／○グラスウール保温材　○ ２）膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷温水管に準ずる。 ３）鋼板製タンクの保温　○必要　○不要 ４）保温を施す膨張水槽等の蓋の保温　○必要　○不要 ５）エア抜管の保温厚は２０mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。 ６）露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内　●合成樹脂カバー１　●ステンレス鋼鈑(厨房・浴室・脱衣室) ・屋外　●ステンレス鋼板　○ ７）弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内　○カラー亜鉛鉄板　●ステンレス鋼板　○ ・屋外　○カラー亜鉛鉄板　●ステンレス鋼板　○ ８）車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 ９）合成樹脂製支持受　○硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
	●塗装	標準仕様書による他下記の配管は塗装（指定色塗装）を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く ●屋外（○ダクト　●配管）　○屋内ＰＳ・ＥＰＳ（○ダクト　○配管） ○屋内機械室・電気室（○ダクト　○配管）
	○吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質については、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はＪＩＳ Ａ ４００９（空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ０.６mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものとする。 ボックスの吊りは３点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。
	○エポキシ樹脂コーティング及びライニング	エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ○加熱乾燥　○常温乾燥
	○ボックス	ＰＦ管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。
	●容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。
	○誘導電動機	電動機出力が０.７５ｋＷ以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、ＪＩＳ Ｃ ４２１３（低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ）による。

章	項目	特記事項
共通事項	●はつり	１）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 ２）復旧はモルタル補修までとする。
	●インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第２編第５章による。 施工後確認試験　●行う（国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２８年度））による。 ○行わない
	○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は　○遠方復帰式　（電気式（定格入力　ＤＣ２４Ｖ　０.６Ａ以下）） ○手動復帰式
	○消音内貼	ダクト及びチャンバー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は　○不要　○必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 （ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。） ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	○機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等　（○溶融亜鉛メッキ　○ＳＵＳ　） ・その他　（○一般品　○　） ○機器側の材質がＳＵＳ製の場合は、ＳＵＳ製とする。
	○防火区画	○平面階　○図示　○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	○天井仕上区分	（　　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○給油設備	地下オイルタンク／○設ける　○設けない 遠隔油量指示計／○設ける　○設けない 副指示計／○設ける　○設けない オイルサービスタンク／油面計　○ゲージ式　○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○遠隔警報（○減油　○満減油） 油管（露出、トラフ内）／○配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 油管（地中）／○ポリエチレン被覆鋼管　○
	○建物導入部配管 （排気及び通気を除く）	○標準図　施工４(a)　（ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄを使用） ○標準図　施工５(b)　（ﾎﾞｰﾙｼﾞｮｲﾝﾄを使用） ○標準図　施工５(c)　（ｽﾘｰｸｯｼｮﾝを使用）
	●鋼材	屋外部分　○溶融亜鉛めっき（○２種35　○２種50） ●ステンレス鋼製（ＳＵＳ３０４）
	○制御及び操作盤	構成／○進相コンデンサー ○運転時間計 表示等／○運転（赤色）及び停止（緑色）表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子／○遠方発停用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） ○給水量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） ○燃料消費量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用）
空気調和設備	○主方式	○全空気方式（○中央　○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式　○個別方式 ○
	○主要熱源機器	○吸収冷温水機　○チリングユニット　○空気熱源ヒートポンプユニット ○空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和機（○ＥＨＰ　○ＧＨＰ　○　　） ○空冷ヒートポンプ式エアコン
	○設計時の温湿度条件	場所／屋外／屋内（調整目標値） 時期／温度（ＤＢ）／湿度（ＲＨ）／温度（ＤＢ）／湿度（ＲＨ）／温度（ＤＢ）／湿度（ＲＨ） 冬期／℃／%／℃／%／℃／% 夏期／℃／%／℃／%／℃／%
	○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法　○スライドオンフランジ工法）
	○ダクトの分岐方法	○割込み工法　○直付け工法
	○配管材料 （図面特記部分は除く）	冷温水管／○配管用炭素鋼管（白）　○ 冷却水管／○配管用炭素鋼管（白） ○塩ビライニング鋼管　（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ） ○ 空調用排水管／○配管用炭素鋼管（白）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○塩ビ管（ＶＰ） 蒸気配管　給気管／○配管用炭素鋼管（黒）　○ 還管／○圧力配管用炭素鋼管（黒）　○ 補給水管／○配管用炭素鋼管（白）　○ 膨張管／○配管用炭素鋼管（白）　○ エア抜き管／○配管用炭素鋼管（白）　○ 冷媒管／○銅管　○断熱材被覆銅管（ガス管：ハイグレード仕様） ○パッケージ形空気調和機の２次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
	○温度計	○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計　○ガラス製二重管温度計
	○定風量ユニット 変風量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ　（○プロペラ形センサー　○熱線センサー）
	○ファンコイルユニット ｶｾｯﾄ形ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ	風量分配ダクトは　○亜鉛鉄板製　○自己消火性のポリスチレンフォームなど
	○バーナー制御方式	○オン・オフ制御　○ハイ・ロー制御　○比例制御
	○電動機盤	○進相コンデンサー　（○要　○不要　）
	○排熱投入形再生器	直だき吸収冷温水機に（○要する。　○不要である。）
	○高温再生器の構造	※図面による。
	○ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置	発電方式／○原動機、発電機　○燃料電池 熱回収装置／○温水熱交換機　○排ガスボイラー　○排ガス熱交換機 ○熱回収用ポンプ　○その他 その他装置等／○補機付属制御装置　○冷却塔（放熱用）　○
	○集中リモコン	表示機能／○屋外機吸込温度　○空調エネルギー使用量按分　○運転時間積算 データー管理機能／○屋外機吸込温度　○空調エネルギー使用量按分　○運転時間積算

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-1	機械設備工事特記仕様書（１）	-		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025

機械設備工事特記仕様書（２）

章	項目	特記事項	
空気調和設備	○鋼板製煙道	厚さ　○３．２mm　○４．５mm	
		○ばい煙濃度計の取付座　○ばいじん量測定口 ○伸縮継手　○掃除口	
	○ばい煙濃度計	○ファン付　○ファンなし （電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む）	
	○瞬間流量計	○固定形　個 ○着脱可能形　（測定用タッピング　個　本体　個）	
	○保温 （図面特記部分は除く）	１）冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内　隠ぺい部　○不要　○必要 露 出 部　○保温化粧ケース（塩化ビニル樹脂製） ○ ・屋外　○ステンレス鋼板 ○保温化粧ケース　（○樹脂製　○アルミ合金製 ○ステンレス鋼板製　○溶融亜鉛メッキ鋼板製） ・保温化粧ケースの下部カバー　○必要　○不要 ２）ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 ３）加湿用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 ４）トラフ内の油管はプラスチックテープ１／２重ね１回巻きとする。	
換気設備	●ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法　○スライドオンフランジ工法） ●スパイラルダクト	
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト　○割込み方式　○直付け方式 排気ダクト　○割込み方式　○直付け方式	
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 ダクトの長辺 ／ 板厚 ４５０mm以下 ／ ０．６mm ４５０mmを超え１２００mm以下 ／ ０．８mm １２００mmを超え１８００mm以下 ／ １．０mm １８００mmを超えるもの ／ １．２mm	
	○排気フード	１）排気ﾌｰﾄﾞの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ○ステンレス鋼板（補強共）　○亜鉛鉄板 ２）排気ﾌｰﾄﾞ廻りに取付ける幕板は、上記ﾌｰﾄﾞと同材質とする。 ○本工事　○別途工事 ３）グリスフィルターの予備　○不要　○必要	
	○保温	浴室・厨房（多湿箇所）の外気取入ダクトの保温　○不要　○必要 外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について）　○不要　○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について）　○不要　○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について）　○不要　○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第２編第３章第１節による。	
排煙設備	○排煙対象部分	○廊下　○事務室　○図示　○最大面積　m^2	
	○ダクトの種別	○高圧１ダクト　○高圧２ダクト	
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法	
	○ダクトの材料	○亜鉛鉄板製　○普通鋼板製	
	○排煙口	１）形　状　○スリットフェーズ形　○パネル形　○ダンパー形 ２）排煙口の開放　○手動　（○機械式　○電気式）　○煙感知器連動 ３）復帰装置　○手元復帰式（○手動式　○電気式）　○遠方復帰式 ４）ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。	
	○保温	床下及び暗渠内の保温　○不要　○必要（図示）	
自動制御設備		※図面による。	
衛生器具設備	●小便器用節水装置	電気供給方式	●ＡＣ電源　○乾電池　○水流発電充電池
	●自動水栓	電気供給方式	●ＡＣ電源　○乾電池　●水流発電充電池
		手動スイッチ	○　無し　○　有り
	○大便器用洗浄弁	操作方式	○手動式 ○電気開閉式　（○センサー式　○タッチスイッチ式　）
	●水石けん入れ	○手洗器一体型　○手洗器分離型　●無し	
	●身障者用器具	１）大便器洗浄　○センサー式　○タッチスイッチ式　○レバー式 ２）洗面器の水栓は自動水栓とする。	
給水設備	●給水方式	●公共水道直結　○受水タンク及び高置タンク　○受水タンク及び加圧ポンプ ○直結ブースターポンプ	
	●配管材料 （図面特記部分は除く）	一般配管	○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） （呼び径６０Ｓｕ以下は拡管式、呼び径７５Ｓｕ以上は溶接接合） ●ビニル管（ＨＩＶＰ）　※仮設工事 ○ポリ粉体ライニング鋼管（ＳＧＰ－ＰＡ、ＳＧＰ－ＦＰＡ） ●塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ） ○
		地中配管［屋内］	○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） （呼び径６０Ｓｕ以下は拡管式、呼び径７５Ｓｕ以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン二層管（５０φ以下）（※２種　○１種） （ポリエチレン管の接合方法は ○電気融着 ○メカニカル） ●ビニル管（ＨＩＶＰ） ○ポリ粉体ライニング鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ、ＳＧＰ－ＦＰＤ） ○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ、ＳＧＰ－ＦＶＤ） ○
		地中配管［屋外］	○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） （呼び径６０Ｓｕ以下は拡管式、呼び径７５Ｓｕ以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン二層管（５０φ以下）（※２種　○１種） ●ビニル管（ＨＩＶＰ） ○ポリ粉体ライニング鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ、ＳＧＰ－ＦＰＤ） ○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ、ＳＧＰ－ＦＶＤ） ○
	○緊急遮断弁装置	○要　○　不要	
		駆動方式	○電気式　○機械式
	○量水器	○直読式 ○パルス式（○乾式デジタル式 ○湿式アナログ式）	

章	項目	特記事項	
給水設備	○水栓柱	○合成樹脂製　（７０ｘ７０ｘ１３００Ｈ） ○ステンレス製　（　） ○アルミニウム合金製（　） 特記なき場合、水栓取付け高さは約６００とする。	
	●管の埋設深さ	１）一般敷地　●３００mm　○ ２）構内車両通路　●６００mm　○ ３）寒冷地では凍結深度以上とする。	
	○加入金・負担金	○不要　○必要（○別途　○本工事）	
	○本管引込工事	○本工事　○別途工事	
排水設備	●排水方式	汚水と雑排水　［屋内］ 汚水・雑排水と雨水［屋外］ ポンプ排水	●分流式　○合流式 ●分流式　○合流式 ○有り（○雑排水　○汚水　○浄化槽２次側）　●なし
	●放流式	汚水 雑排水 雨水ポンプアップ 湧水ポンプアップ	●直放流下水管　○浄化槽　○ ●直放流下水管　○浄化槽　○別途桝・側溝 ○直放流下水管　○雨水側溝　○雨水桝 ○直放流下水管　○雨水側溝　○雨水桝
	●配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内雑排水管	○排水用塩ビライニング鋼管 ○鋼管（ＳＧＰＷ）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ●ビニル管（ＶＰ）　※仮設工事 ●耐火二層管　○
		屋内汚水排水管	○排水用塩ビライニング鋼管 ●ビニル管（ＶＰ）　※仮設工事　○ＲＦ－ＶＰ ●耐火二層管　○
		通気管	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ○鋼管（ＳＧＰＷ）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ○ビニル管（ＶＰ） ○排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管　○
		地中配管［屋内］	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ●ビニル管（ＶＰ）　○ビニル管（ＶＵ） ○
		地中配管［屋外］	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） ○ビニル管（ＶＰ）　○ビニル管（ＶＵ） ○
		鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ）（地中配管はＳＧＰ－ＶＤ、ＳＧＰ－ＦＶＤ）とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。	
	○満水試験継手	○必要（図示箇所に取付ける）　○不要	
	○負担金	○不要　○必要（○別途　○本工事）	
	○本管接続工事	○本工事　○別途工事	
給湯設備	○給湯方式	○中央式　○局部式	
	○配管材料	○銅管（壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。） ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○保温付き被覆銅管	
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第２編３．１．５の表２．３．５による。	
消火設備	○消火設備の種類	○屋内消火栓　○スプリンクラー ○泡消火　○不活性ガス消火（　） ○連結送水管　○	
	○表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。	
	○配管材料 （図面特記部分は除く）	一般配管	○配管用炭素鋼管（白） ○圧力配管用炭素鋼管（白） ○
		屋内外地中配管	○外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
	○保温	消火用充水タンクの保温を　○施工する（膨張タンクによる）　○施工しない 消火用呼水タンクの保温を　○施工しない　○施工する（膨張タンクによる） 屋外露出管の保温を　○施工しない　○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） 屋内露出管の保温を　○施工しない　○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） トレンチ内の保温を　○施工しない　○施工する（給水管の保温仕様に準ずる）	
ガス設備	●ガスの種類	○都市ガス　（発熱量　○４５，０００kJ/N　m^3　○　KJ/N　m^3　） ●液化石油ガス　（○５０ｋｇ　本立　○２０ｋｇ　本立）	
	○ガスメーター	親メーター	○貸与品　○購入
		子メーター	○購入　○貸与品 計量方式　（○直読式　○パルス式）
	●配管材料 （図面特記部分は除く）	一般配管	●配管用炭素鋼鋼管（白） ○
		屋内外地中配管	●ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○
		都市ガスの場合は、供給者仕様による。	
	○地中埋設管の接合法	○ＳＧＭ工法　○ネジ工法　○ＰＥ管工法	
	○ピット内施工法	○溶接工法	
	○負担金	○不要　○必要（○別途　○本工事）	
	○本管接続工事	○本工事　○別途工事	
さく井設備	○掘削工法	○パーカッション式　○ロータリー式　○ダウンザホールハンマー式	
	○孔口保護管	深度　（　）ｍ	
	○ケーシング材質	○配管用炭素鋼鋼管（黒管）　○配管用ステンレス鋼鋼管	

章	項目	特記事項
地中熱交換井設備	○掘削工法	○回転振動式　○ロータリー式　○ダウンザホールハンマー式 ○ロータリーパーカッション式
厨房機器設備		安全装置の適用は図面による。
浄化槽設備	○形式	○ユニット形　○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理（別紙参照） ○合併処理（別紙参照）
医療ガス設備		※図面による。

別表　１　付属品・予備品

○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパナー、ハンマー）
○マンホールフック　○パイプレンチ　○ポンププライヤー　○ポンテン（大、小）
○イージーキャビネット　箱　○キーボックス
○盤類予備品（ランプ及びヒューズの１００％）

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-2	機械設備工事特記仕様書（２）	-		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL (075) 761-6025

換気設備　機器リスト

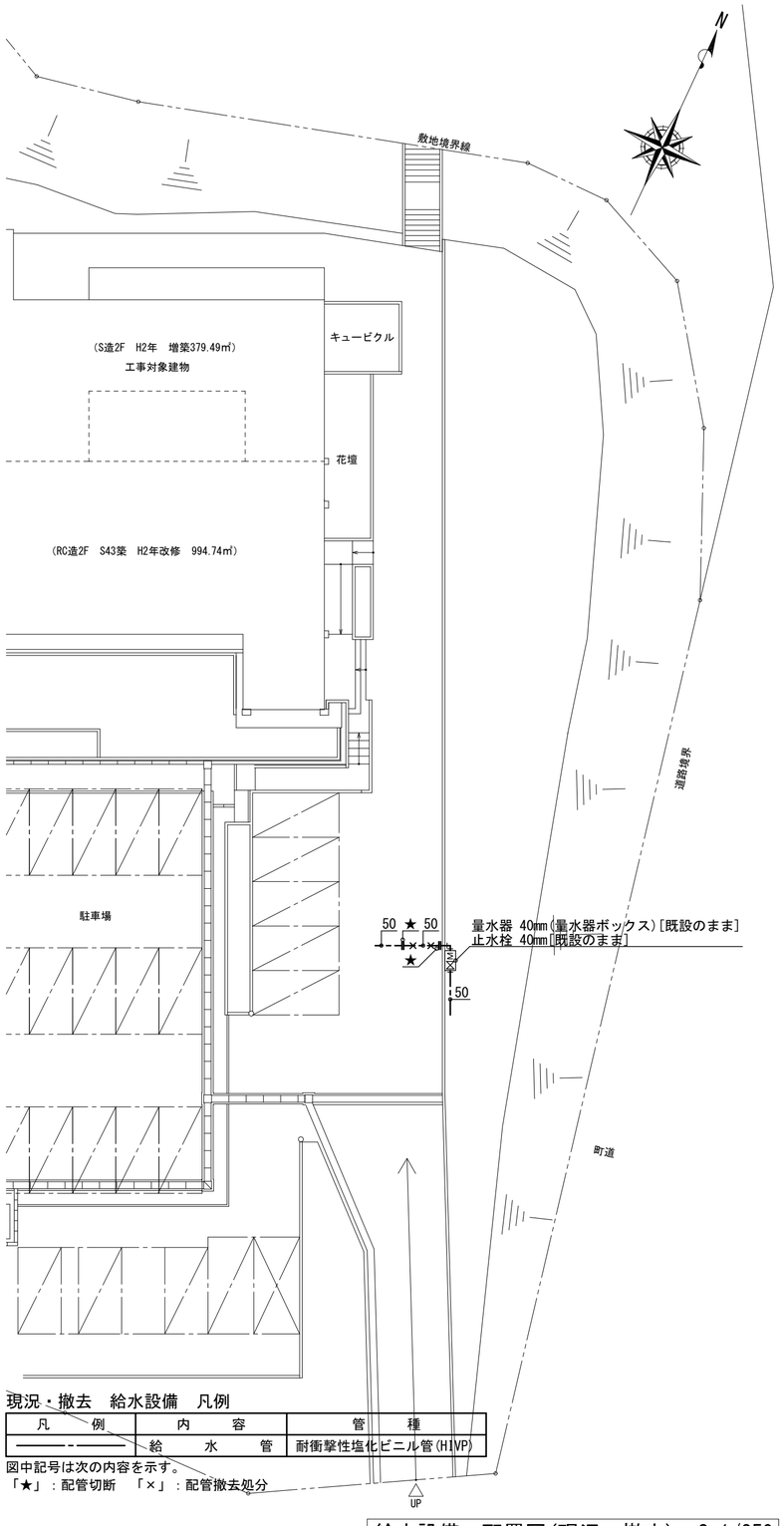
番号	機器名	機器仕様及び付属品	数量
F 1	天井埋込形換気扇	低騒音タイプ　ダクト口径 150φ　風量 300m³/h以上　静圧 80Pa以上　騒音値 42.5dB以下　電源電圧 1φ100V　消費電力 94.0W以下	4
		付属品　天吊金具、付属品一式共　※屋外排気端末は既設を利用　参考品番　三菱電機 VD-20ZC10	
F 2	窓付換気扇	格子タイプ　連動式シャッター・引きひも付　羽根口径 200φ　風量 480m³/h以上　騒音値 36.0dB以下　電源電圧 1φ100V　消費電力 22.0W以下	8
		付属品　ステンレス製ウェザカバー、ステンレス製防虫網、絶縁枠、付属品一式共　※アルミパネル(建築工事)に取付　参考品番　三菱電機 EX-20LK8-C	

衛生器具リスト

品名	参考品番 (TOTO)	付属品及び備考	1F 男子便所	1F 男子洗面所	1F 女子便所	1F 女子洗面所	1F 身障便所	2F 男子便所	2F 男子洗面所	2F 女子便所	2F 女子洗面所	合計
身障者用便器	CS20ABM	SH30BA(ロータンク・手洗い無),TCF5533AMPS(金属ベースプレート・温水洗浄便座 AC100V 消費電力 316W・便器洗浄ユニット共),YH702(ステンレス製棚付2連紙巻器)					1					1
洋風便器	CS232B	SH232BA(ロータンク・手洗い無),TCF5533AES(温水洗浄便座 AC100V 消費電力 316W・便器洗浄ユニット共),YH702(ステンレス製棚付2連紙巻器)	2		2			2		2		8
壁掛小便器	UFS900R	自動洗浄 (AC100V 消費電力 0.5W)	3					3				6
身障者用洗面器	L103D	TENA40AW(自動水栓・自己発電式),TL103BG(壁排水トラップ),TL220D(バックハンガー),TH500P32(排水接続アダプター・塩ビ管用カバー付),HH04060(樹脂プラグ)					1					1
埋込洗面器	L530	TENA41A(自動水栓・AC100V　消費電力 0.6W),T7PW1(壁排水トラップ),TH500P32(排水接続アダプター・塩ビ管用カバー付),HH04060(樹脂プラグ)		1		2			1		2	6
掃除用流し	SK22A	T23AE20 C(横水栓),TK22(リムカバー),TN114(アングル形止水栓),T9R(バックハンガー),HH04060(樹脂プラグ)×2,T37SGEP(床排水トラップ)	1					1				2
ベビーチェア	YKA15R	YPH62017W2(アンカーボルト・床固定)　※壁固定は付属タッピンねじ使用				1					1	2
ベビーチェア	YKA15R	YPH62017W2(アンカーボルト・床固定),T110D28(樹脂プラグ・壁固定)		1					1			2
洗面カウンター	建築工事	W=900		1					1			2
洗面カウンター	建築工事	W=1,700				1					1	2
化粧鏡	建築工事	W=900　H=900		1					1			2
化粧鏡	建築工事	W=1,700　H=900				1					1	2

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-3	換気設備　機器リスト、衛生器具リスト	-		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社 三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL(075)761-6025

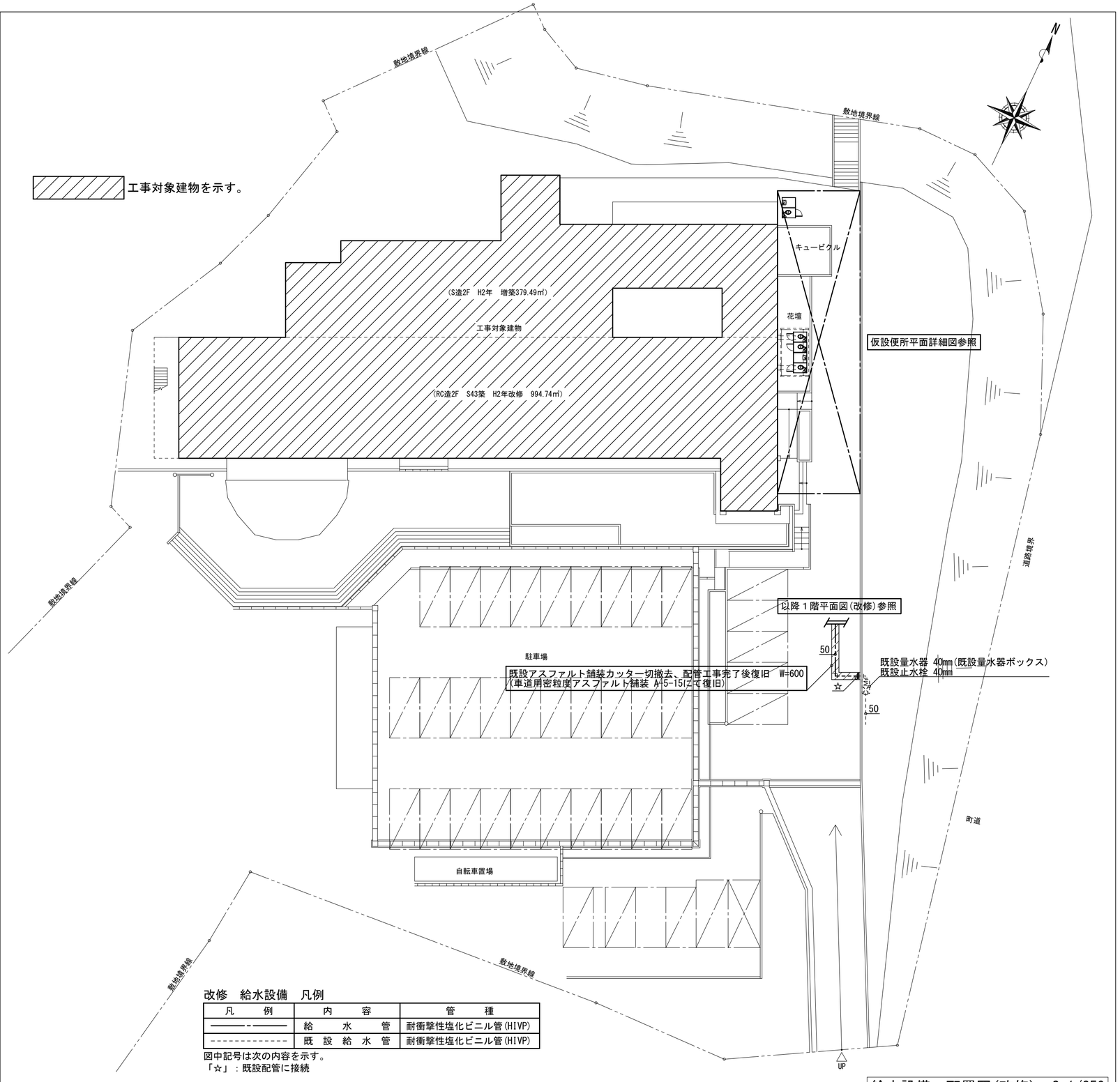


現況・撤去　給水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
——— - ———	給　水　管	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)

図中記号は次の内容を示す。
「★」：配管切断　「×」：配管撤去処分

給水設備　配置図(現況・撤去)　S=1/250



改修　給水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
——— - ———	給　水　管	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
- - - - - - - - - - - -	既　設　給　水　管	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)

図中記号は次の内容を示す。
「☆」：既設配管に接続

給水設備　配置図(改修)　S=1/250

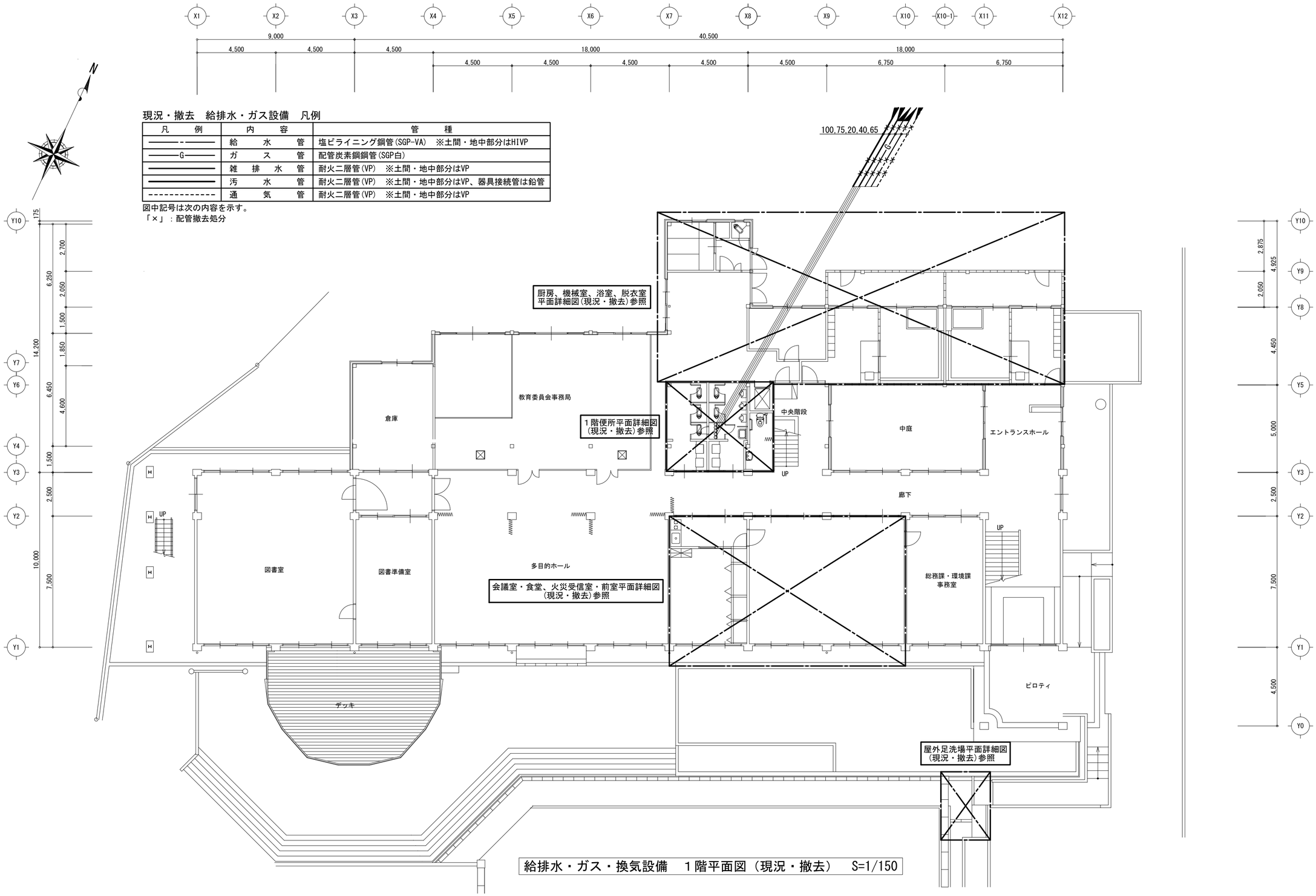
TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-4	給水設備　配置図(現況・撤去、改修)	1/250		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025

現況・撤去　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G———	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP、器具接続管は鉛管
- - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

図中記号は次の内容を示す。
「×」：配管撤去処分



給排水・ガス・換気設備　１階平面図（現況・撤去）　S=1/150

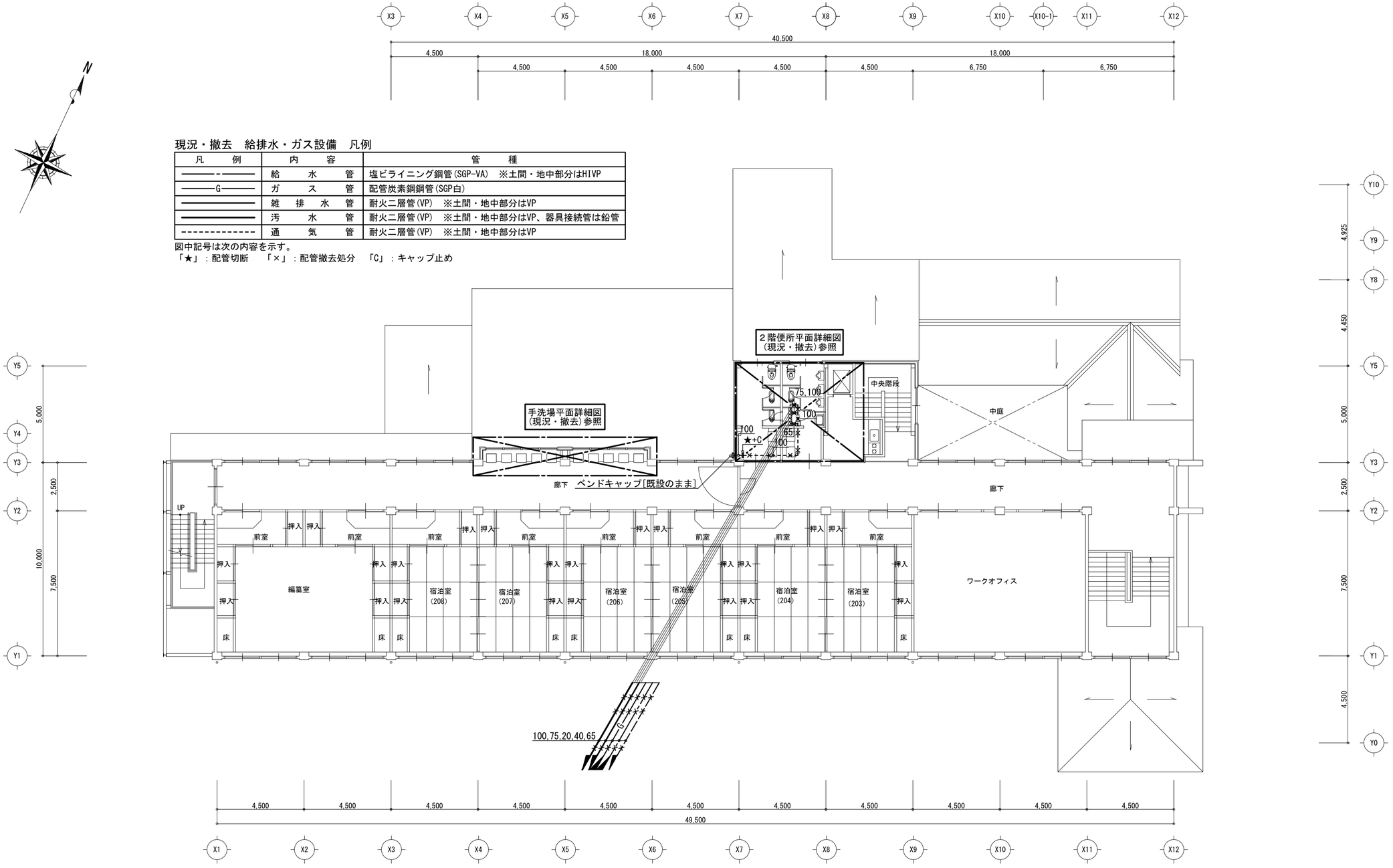
TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-5	給排水・ガス・換気設備　１階平面図（現況・撤去）	1/150		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025

現況・撤去　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G————	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
————————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP、器具接続管は鉛管
- - - - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

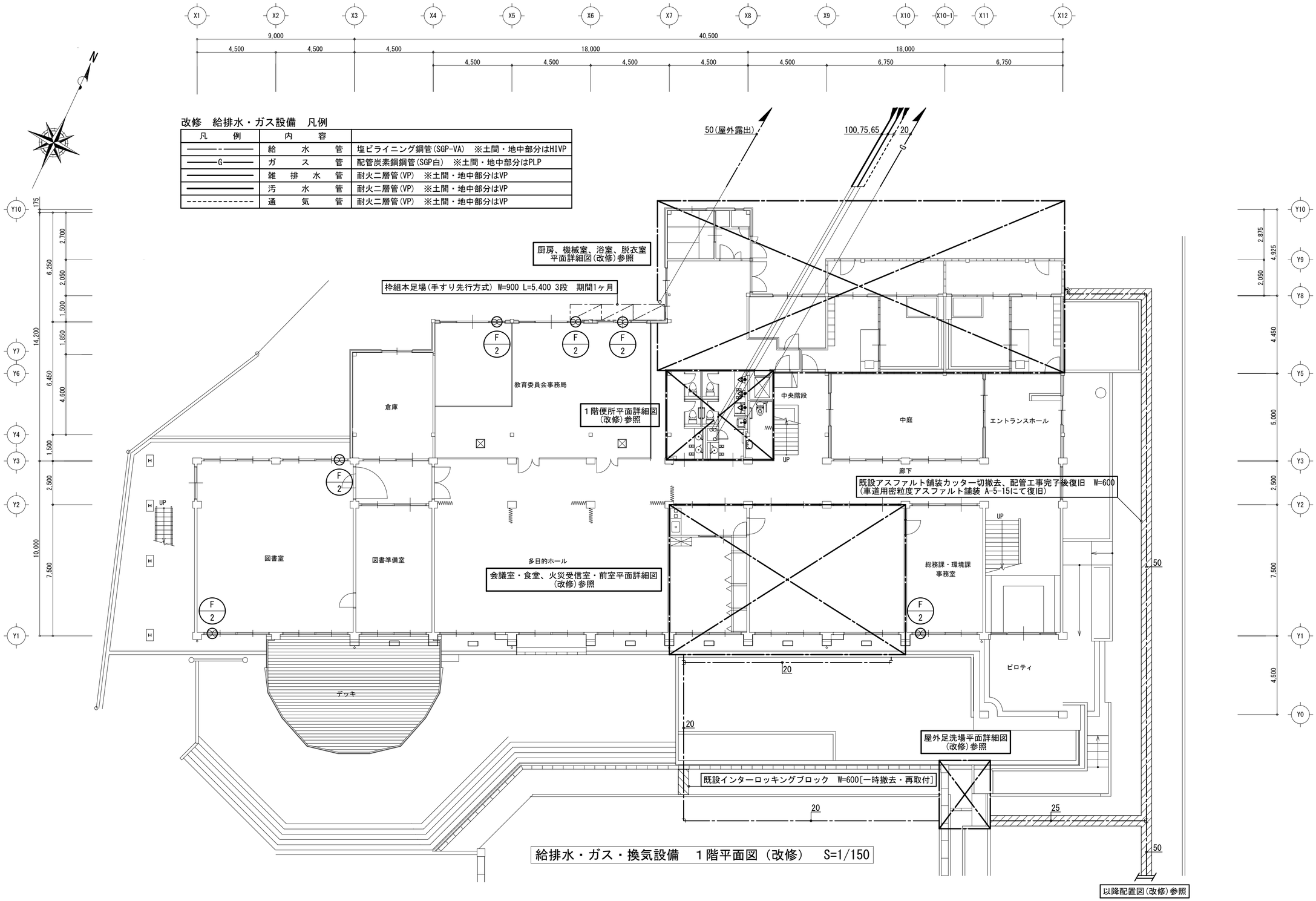
図中記号は次の内容を示す。
「★」：配管切断　「×」：配管撤去処分　「C」：キャップ止め



給排水・ガス・換気設備　２階平面図（現況・撤去）　S=1/150

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-6	給排水・ガス・換気設備　２階平面図（現況・撤去）	1/150		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025



改修 給排水・ガス設備 凡例

凡例	内容	
———	給水管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA) ※土間・地中部分はHIVP
———G———	ガス管	配管炭素鋼鋼管(SGP白) ※土間・地中部分はPLP
———	雑排水管	耐火二層管(VP) ※土間・地中部分はVP
———	汚水管	耐火二層管(VP) ※土間・地中部分はVP
- - - - -	通気管	耐火二層管(VP) ※土間・地中部分はVP

給排水・ガス・換気設備 1階平面図(改修) S=1/150

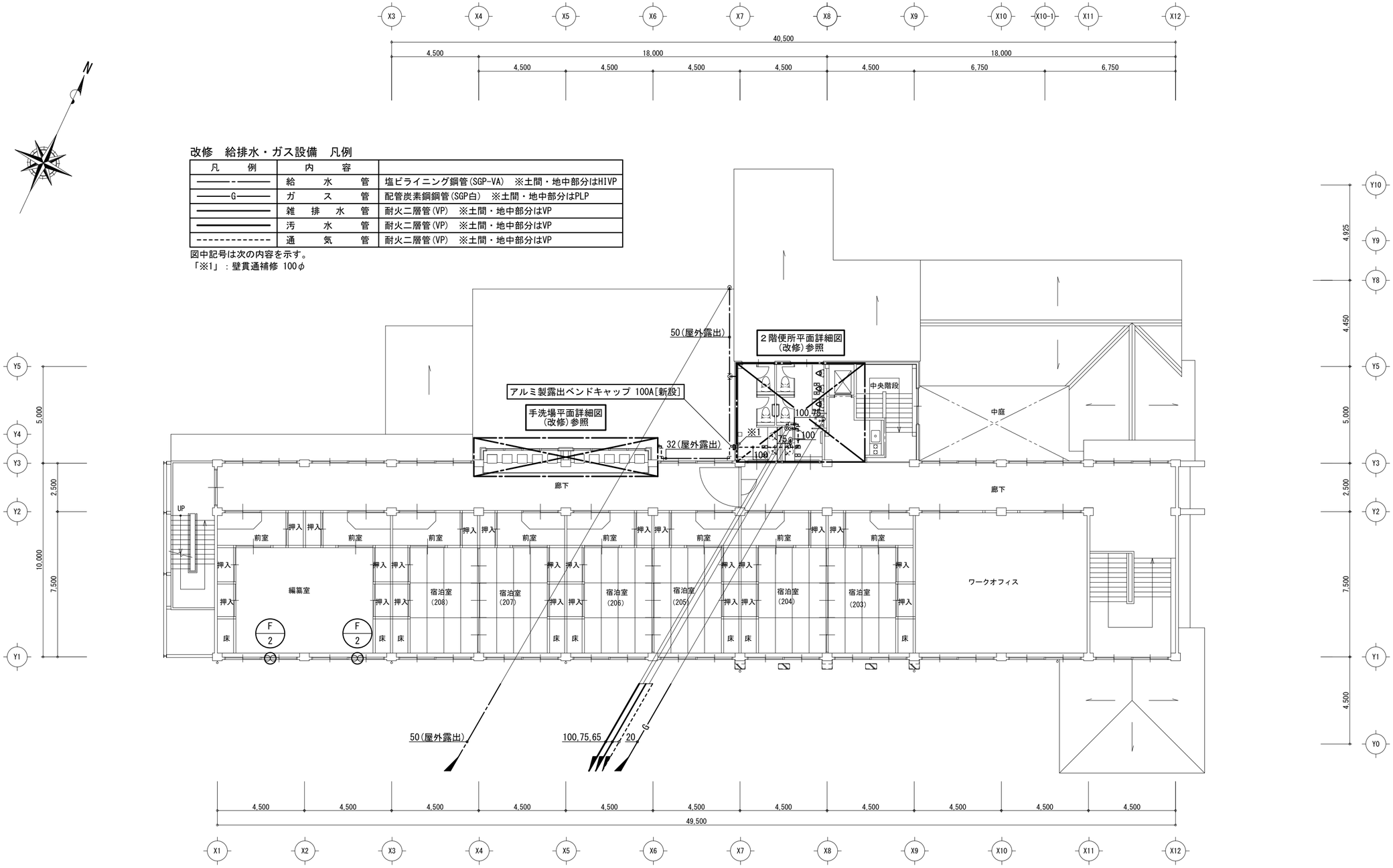
TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-7	給排水・ガス・換気設備 1階平面図(改修)	1/150		

一級建築士事務所 管理建築士 三宅晃郎 第308903号
株式会社 三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6 TEL(075)761-6025

改修　給排水・ガス設備　凡例

凡　　例	内　　容	
——— - ———	給　　水　　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G———	ガ　　ス　　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)　※土間・地中部分はPLP
———	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
———	汚　　水　　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
- - - - - - - -	通　　気　　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

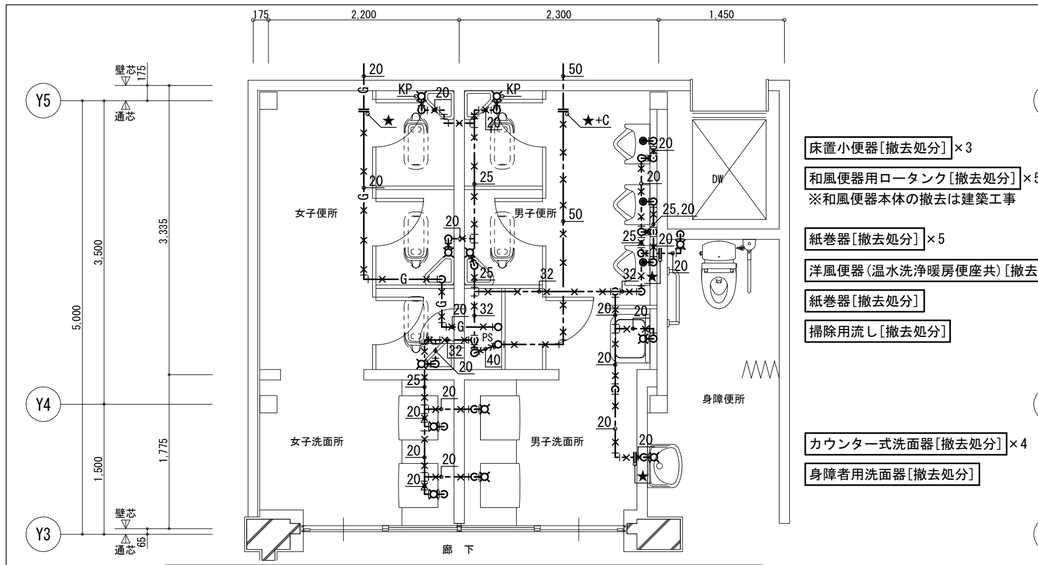
図中記号は次の内容を示す。
「※1」：壁貫通補修 100φ



給排水・ガス・換気設備　２階平面図（改修）　S=1/150

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-8	給排水・ガス・換気設備　２階平面図（改修）	1/150		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL (075) 761-6025



床置小便器[撤去処分]×3

和風便器用ロータンク[撤去処分]×5
※和風便器本体の撤去は建築工事

紙巻器[撤去処分]×5

洋風便器(温水洗浄暖房便座共)[撤去処分]

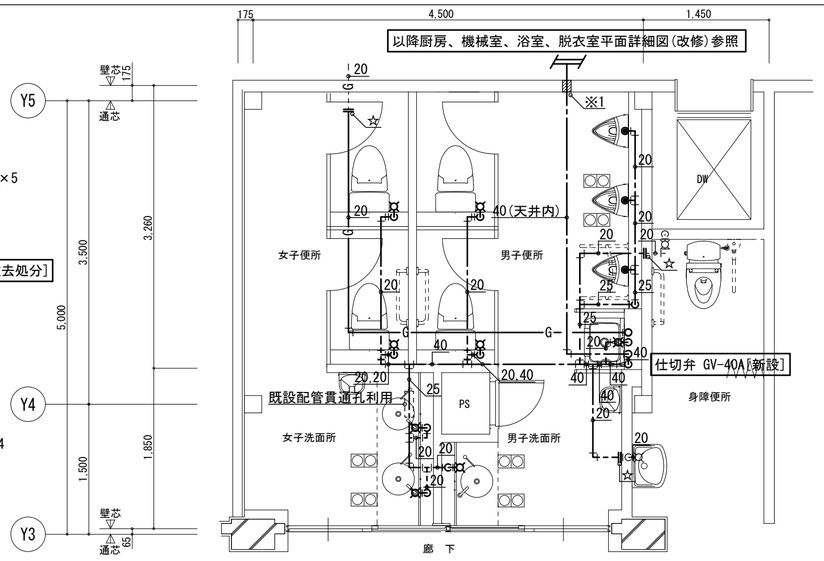
紙巻器[撤去処分]

掃除用流し[撤去処分]

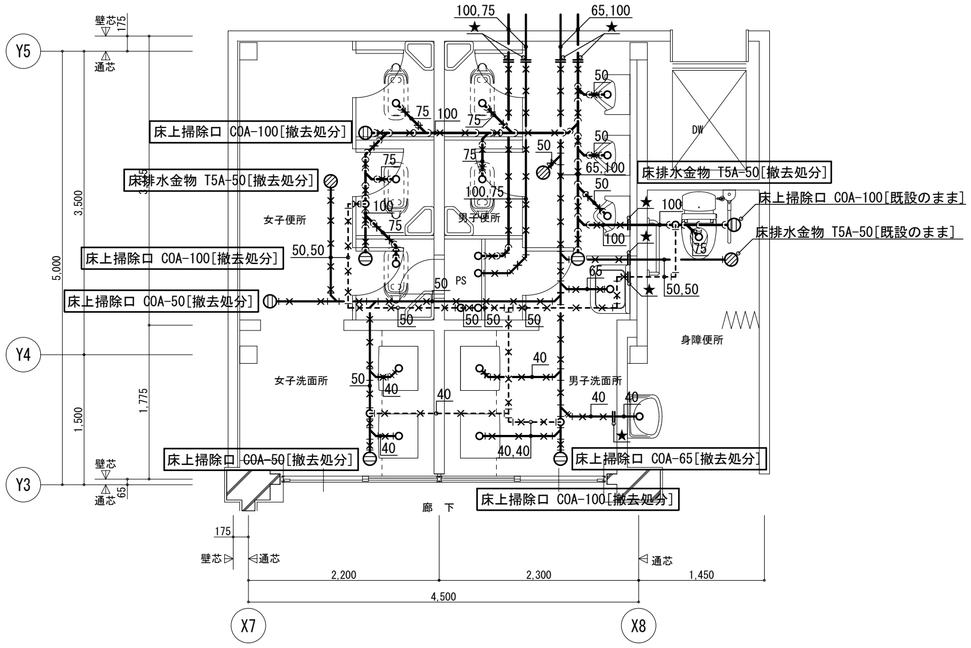
カウンター式洗面器[撤去処分]×4

身障者用洗面器[撤去処分]

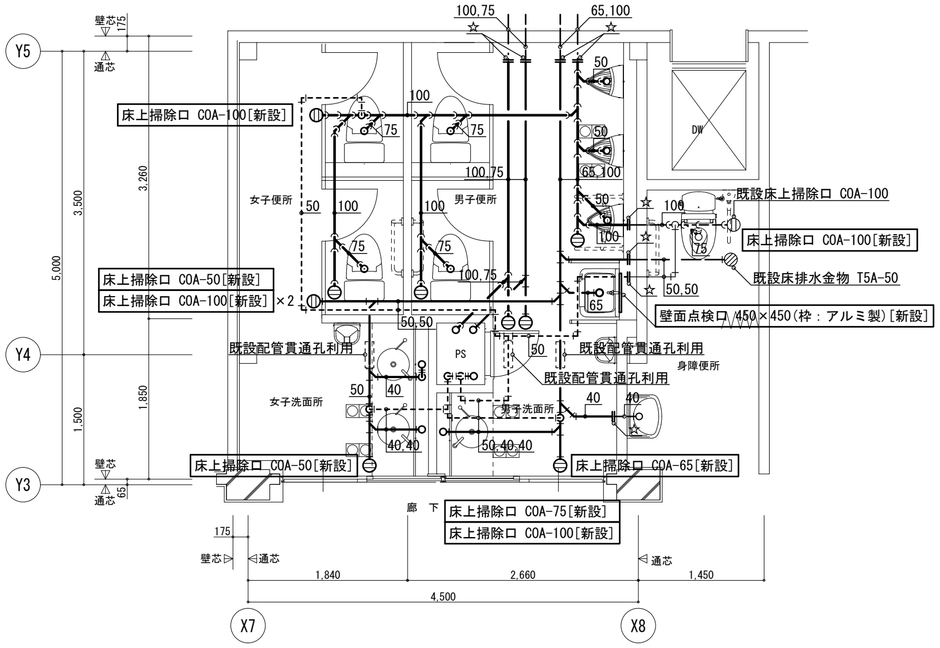
給水・ガス設備　１階便所平面詳細図(現況・撤去)　S=1/50



給水・ガス設備　１階便所平面詳細図(改修)　S=1/50



排水設備　１階便所平面詳細図(現況・撤去)　S=1/50



排水設備　１階便所平面詳細図(改修)　S=1/50

現況・撤去　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-———	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G———	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP、器具接続管は鉛管
- - - - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

図中記号は次の内容を示す。
「★」：配管切断　「×」：配管撤去処分　「C」：キャップ止め　「KP」：壁面にて化粧プラグ止

改修　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-———	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G———	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
- - - - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
- - - - - - - - - - - -	既　設　給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
------G------	既　設　ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)　※土間・地中部分はPLP
—·—·—·—	既設雑排水・汚水管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————	既　設　通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

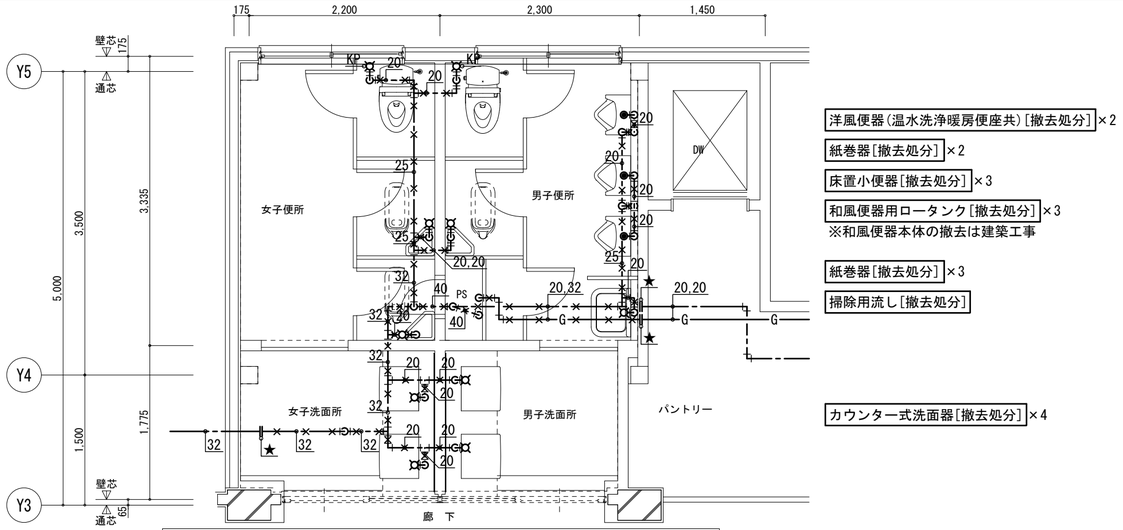
図中記号は次の内容を示す。
「☆」：既設配管に接続　「※1」：壁貫通補修 100φ

特記事項

1．トイレ改修工事においては１階トイレ改修工事を先行し完了させた後、２階トイレ改修工事を行う事。
（１、２階トイレが同時に使用出来ない状況を避けた工事とし、１階トイレは工事完了後使用する。）
2．１階トイレ改修工事においては２階スラブ下までＰＳ内の２階トイレ用雑排水及び汚水の竪管、１階トイレ用の通気及び２階用ガス管の竪管まで完了とする。
(接続まではプラグ又はキャップ止めとする。)
3．２階トイレ改修の配管工事においては、１階トイレを使用をしながらの工事となる為、工事を行う時間の調整を監督職員や施設側と充分に行い、施工する事。

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-9	給排水・ガス設備 １階便所平面詳細図（現況、撤去、改修）	1/50		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第３０８９０３号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL(075)761-6025



洋風便器(温水洗浄暖房便座共)[撤去処分]×2

紙巻器[撤去処分]×2

床置小便器[撤去処分]×3

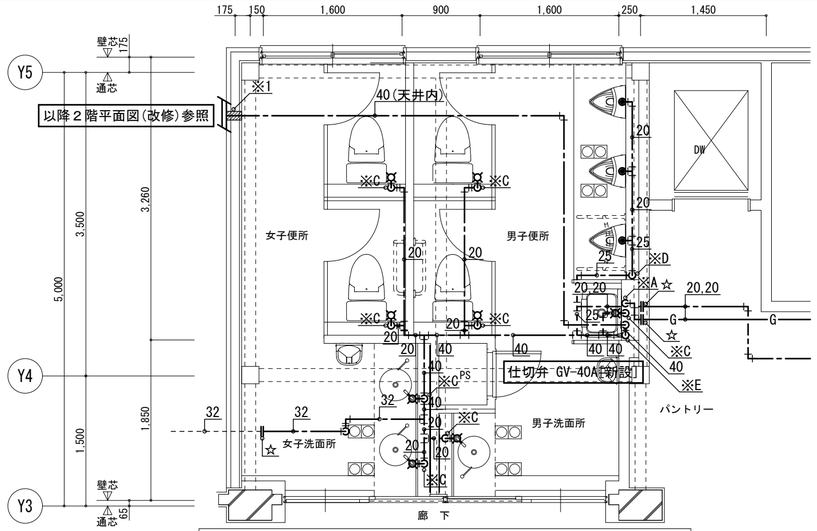
和風便器用ロータンク[撤去処分]×3
※和風便器本体の撤去は建築工事

紙巻器[撤去処分]×3

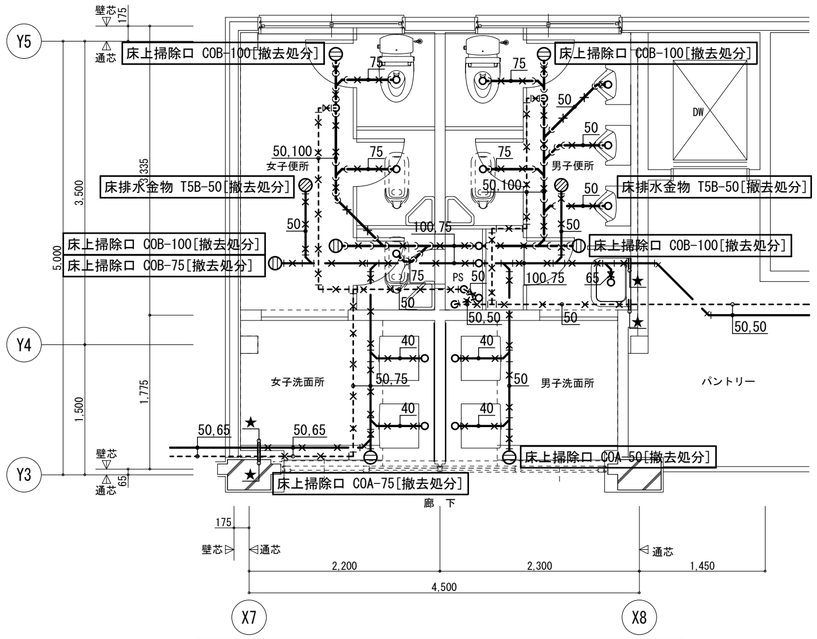
掃除用流し[撤去処分]

カウンター式洗面器[撤去処分]×4

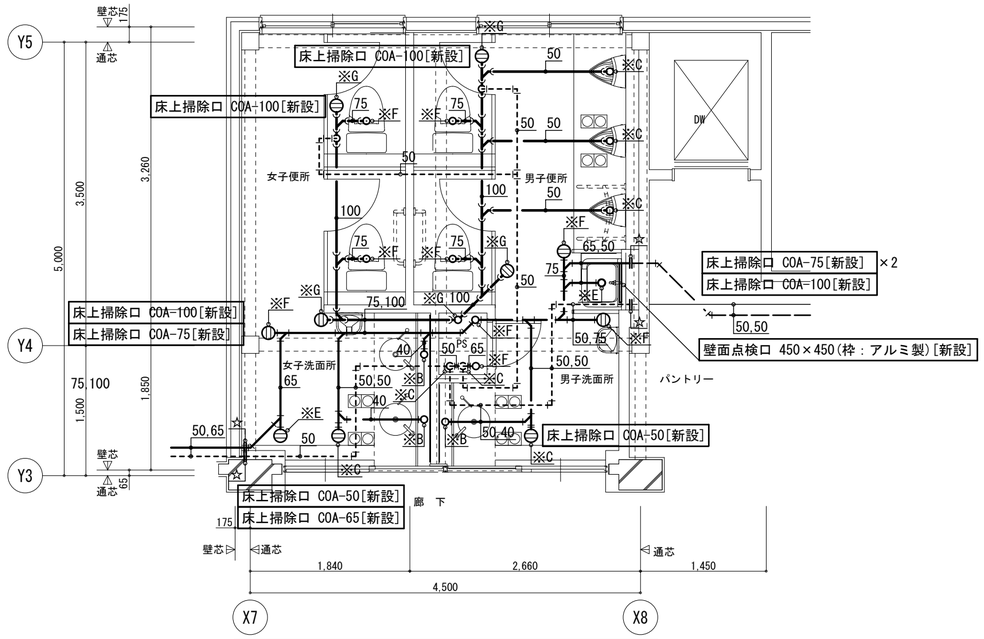
給水・ガス設備　２階平面詳細図(現況・撤去)　S=1/50



給水・ガス設備　２階平面詳細図(改修)　S=1/50



排水設備　２階平面詳細図(現況・撤去)　S=1/50



排水設備　２階平面詳細図(改修)　S=1/50

現況・撤去　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G————	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
————————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP、器具接続管は鉛管
- - - - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

図中記号は次の内容を示す。
「★」：配管切断　「×」：配管撤去処分　「KP」：壁面にて化粧プラグ止

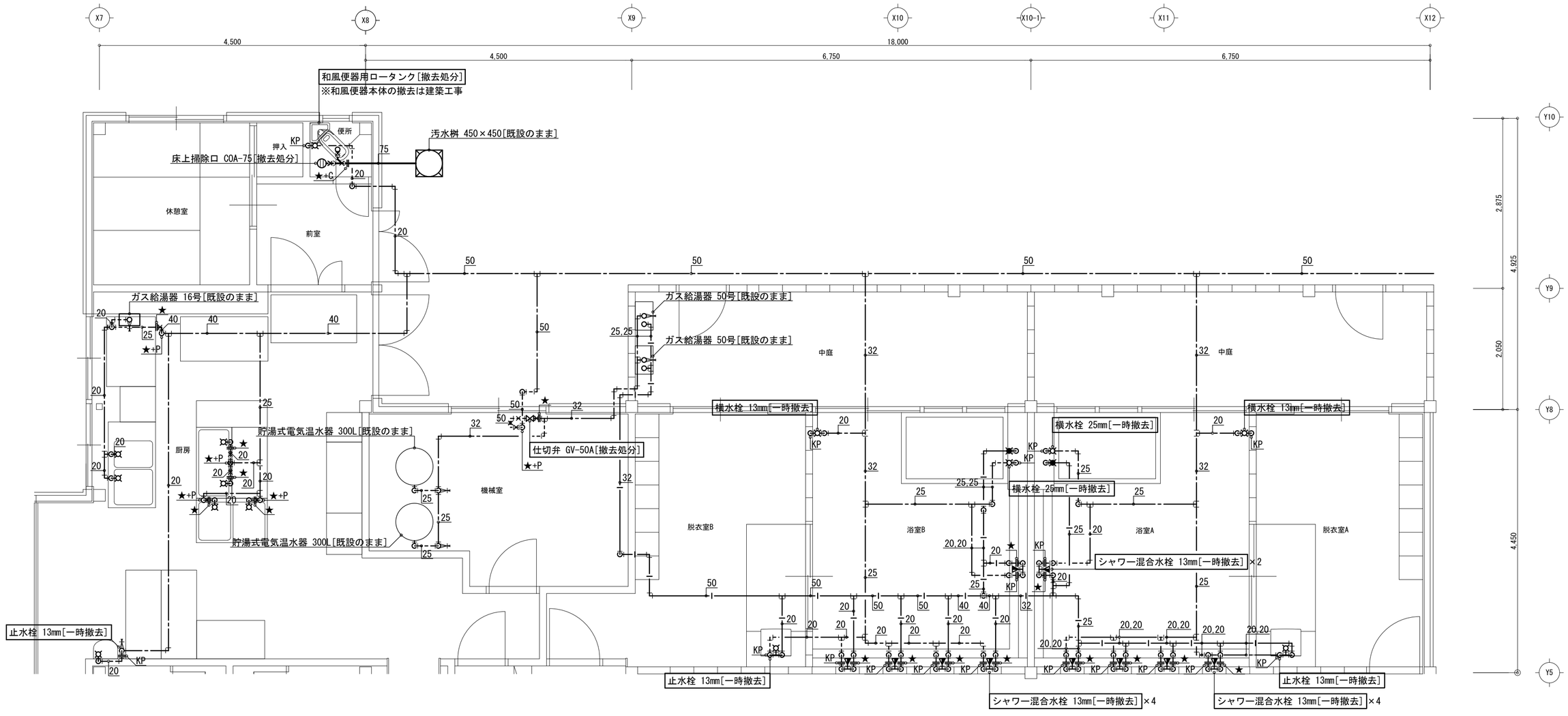
改修　給排水・ガス設備　凡例

凡　例	内　容	
———-————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
———G————	ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)　※土間・地中部分はPLP
————————	雑　排　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————————	汚　水　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
- - - - - - - - - - - -	通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
- - - - - - - - - - - -	既　設　給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
------G------	既　設　ガ　ス　管	配管炭素鋼鋼管(SGP白)
—— —— —— ——	既設雑排水・汚水管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP
————————	既　設　通　気　管	耐火二層管(VP)　※土間・地中部分はVP

図中記号は次の内容を示す。
「☆」：既設配管に接続　「※1」：壁貫通補修 100φ　「※A」：床貫通補修 32φ
「※B」：床貫通補修 63φ　「※C」：床貫通補修 75φ　「※D」：床貫通補修 88φ
「※E」：床貫通補修 100φ　「※F」：床貫通補修 125φ　「※G」：床貫通補修 150φ

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-10	給排水・ガス設備 ２階便所平面詳細図（現況・撤去、改修）	1/50		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025



給排水設備　厨房、機械室、浴室、脱衣室平面詳細図(現況・撤去)　S=1/50

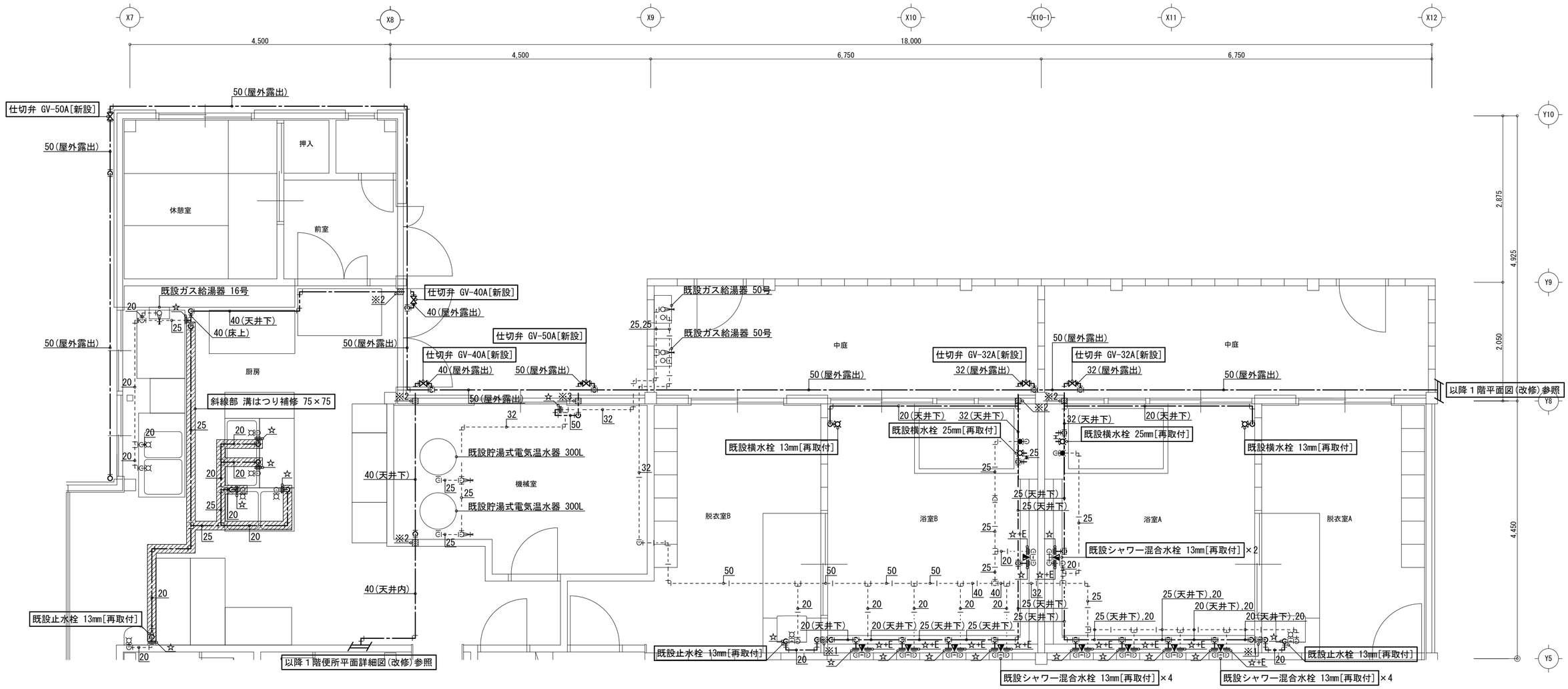
現況・撤去　給排水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———·————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
————————	排　水　管	塩化ビニル管　VP

図中記号は次の内容を示す。又、特記及び図示無き限り既設配管においては既設利用又は残置処理とする。
「★」：配管切断　「×」：配管撤去処分
「P」：プラグ止め　「C」：キャップ止め　「KP」：壁面にて化粧プラグ止

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-11	給排水設備　厨房、機械室、浴室、脱衣室 平面詳細図（現況・撤去）	1/50		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025



給排水設備　厨房、機械室、浴室、脱衣室平面詳細図(改修)　S=1/50

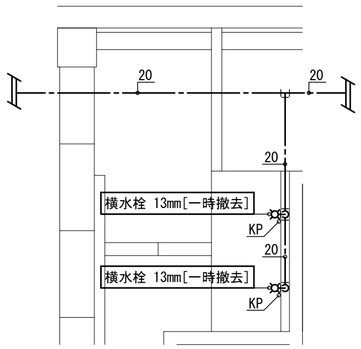
改修　給水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-————	給　水　管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP
----------	既 設 給 水 管	塩ビライニング鋼管(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP

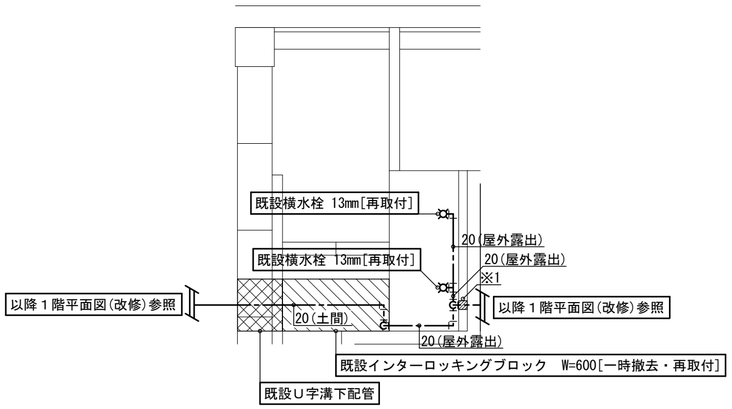
図中記号は次の内容を示す。
「☆」：既設配管に接続　「E」：持出しソケット使用(青銅製・ソケットカバー共)
「※1」：壁貫通補修　75φ　「※2」：壁貫通補修 88φ　「※3」：壁貫通補修 100φ

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-12	給水設備　厨房、機械室、浴室、脱衣室 平面詳細図（改修）	1/50		

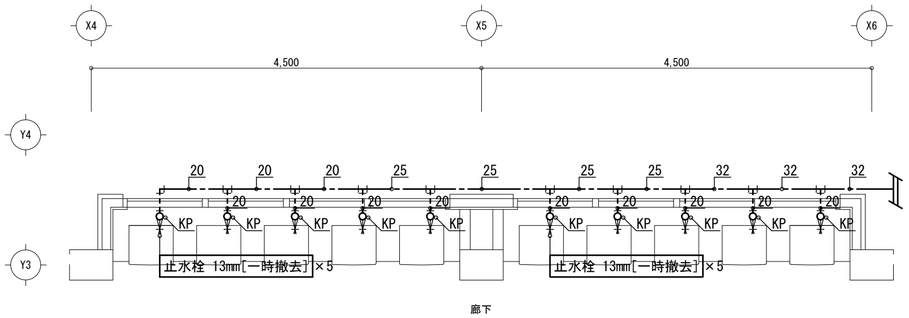
一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL(075)761-6025



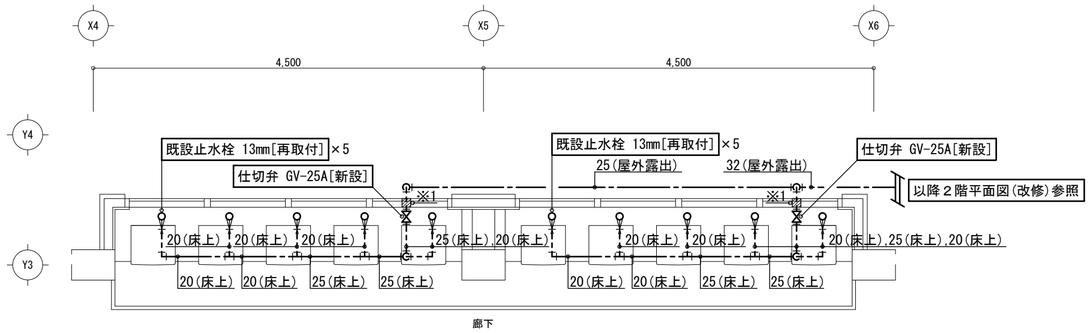
給水設備　屋外足洗場平面詳細図（現況・撤去）　S=1/50



給水設備　屋外足洗場平面詳細図（改修）　S=1/50



給水設備　手洗場平面詳細図（現況・撤去）



給水設備　手洗場平面詳細図（改修）

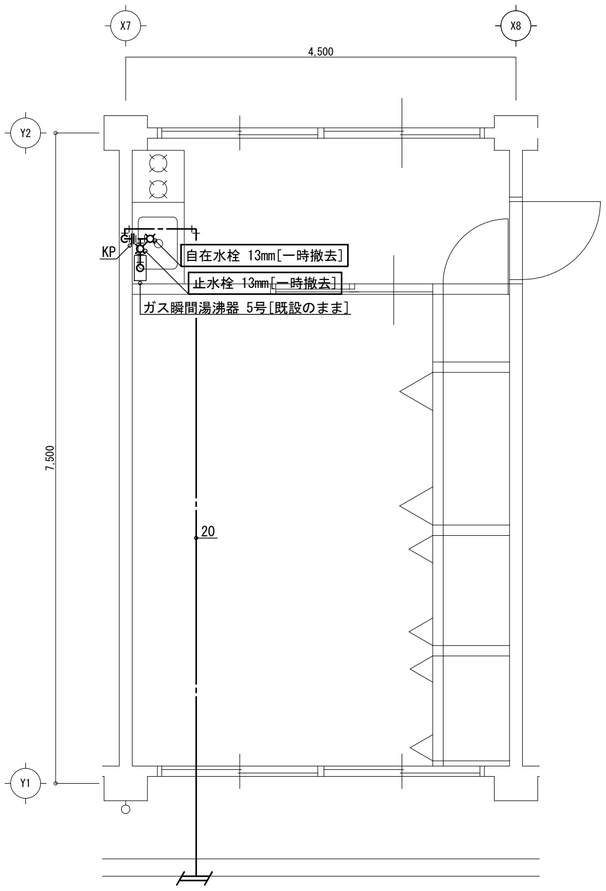
現況・撤去、改修　給水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-———	給　水　管	塩ビライニング交換(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP

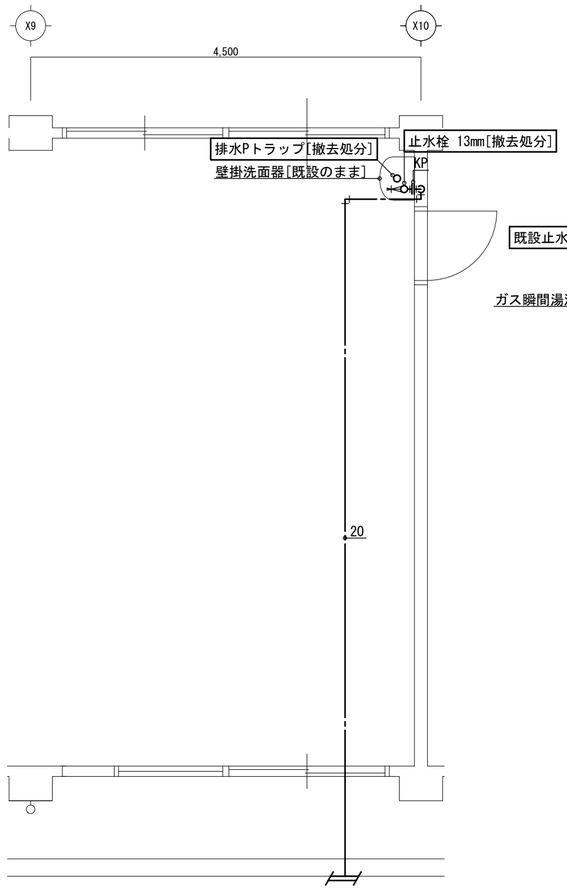
図中記号は次の内容を示す。又、特記及び図示無き限り既設配管においては既設利用又は残置処理とする。
「KP」：壁面にて化粧プラグ取付
「※1」：壁貫通補修 88φ

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-13	給水設備　屋外足洗場、手洗場 平面詳細図（現況・撤去、改修）	1/50		

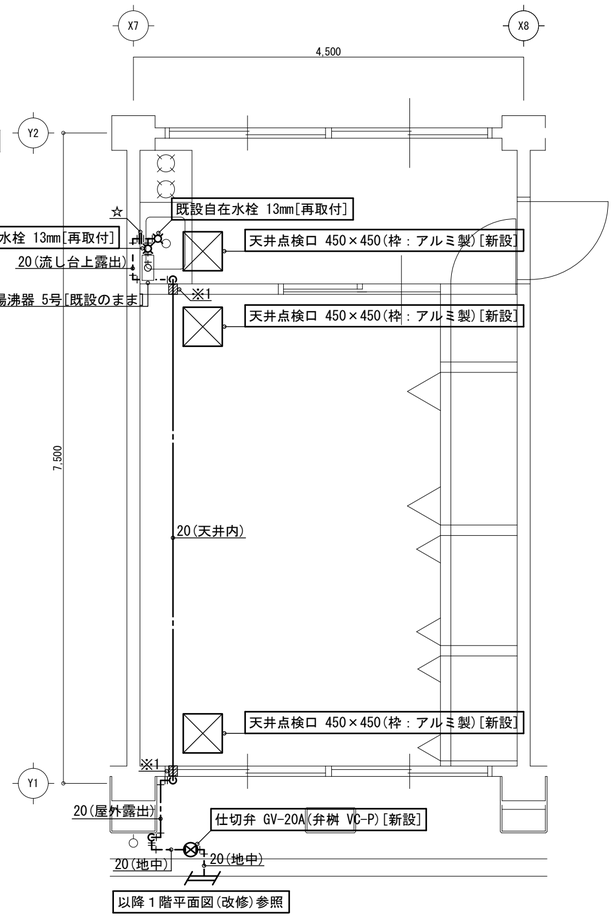
一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL(075)761-6025



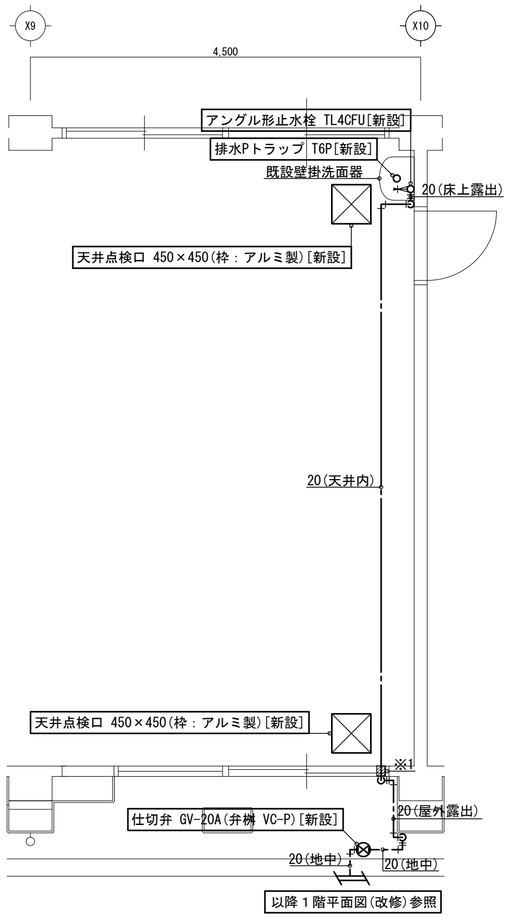
給水設備　火災受信室・前室平面詳細図（現況・撤去）



給水設備　会議室・食堂平面詳細図（現況・撤去）



給水設備　火災受信室・前室平面詳細図（改修）



給水設備　会議室・食堂平面詳細図（改修）

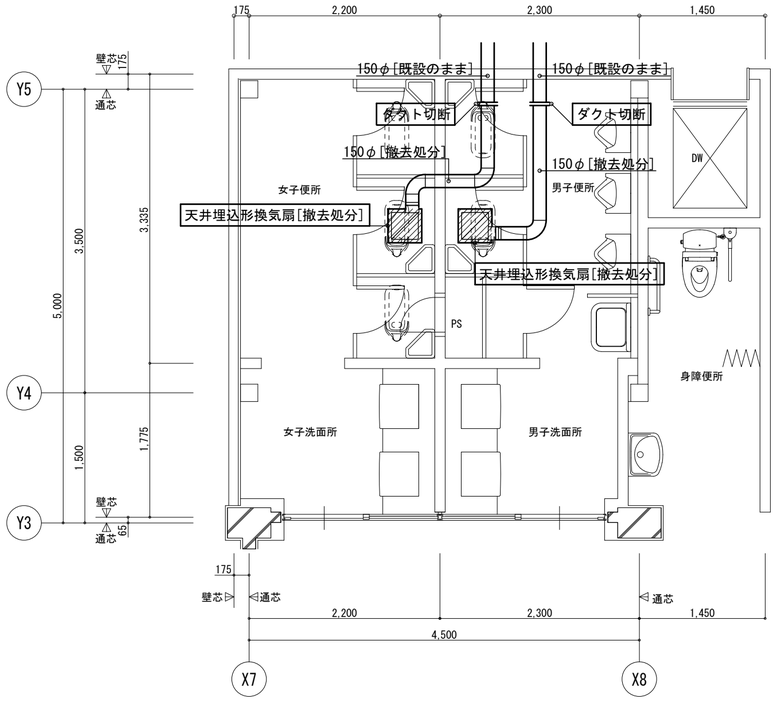
現況・撤去、改修　給水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-———	給　水　管	塩ビライニング交換(SGP-VA)　※土間・地中部分はHIVP

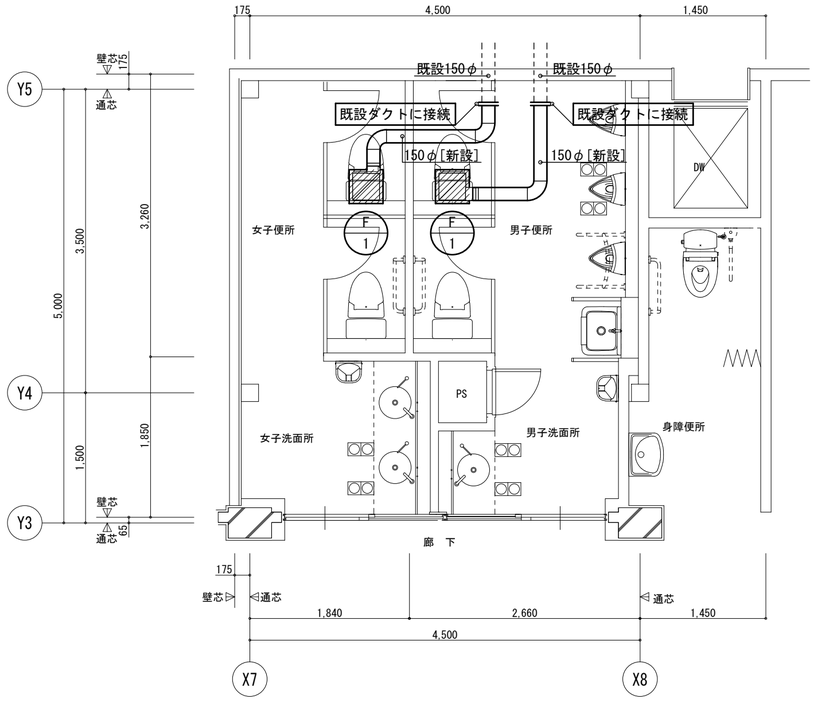
図中記号は次の内容を示す。又、特記及び図示無き限り既設配管においては既設利用又は残置処理とする。
「☆」：既設配管に接続　「KP」：壁面にて化粧プラグ取付
「※1」：壁貫通補修 75φ

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-14	給水設備　火災受信室・前室、会議室・食堂 平面詳細図（現況・撤去、改修）	1/50		

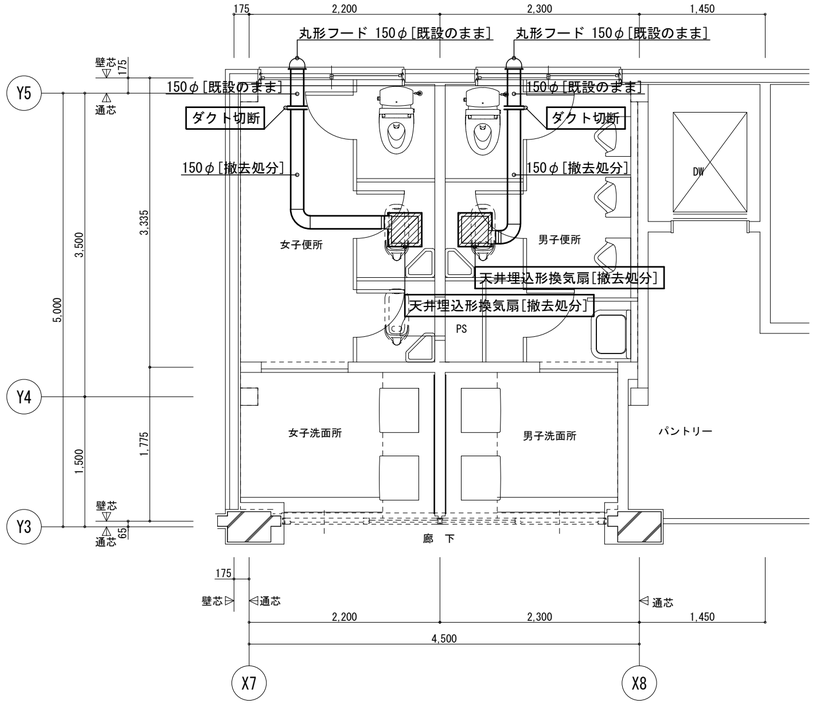
一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社 三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL(075)761-6025



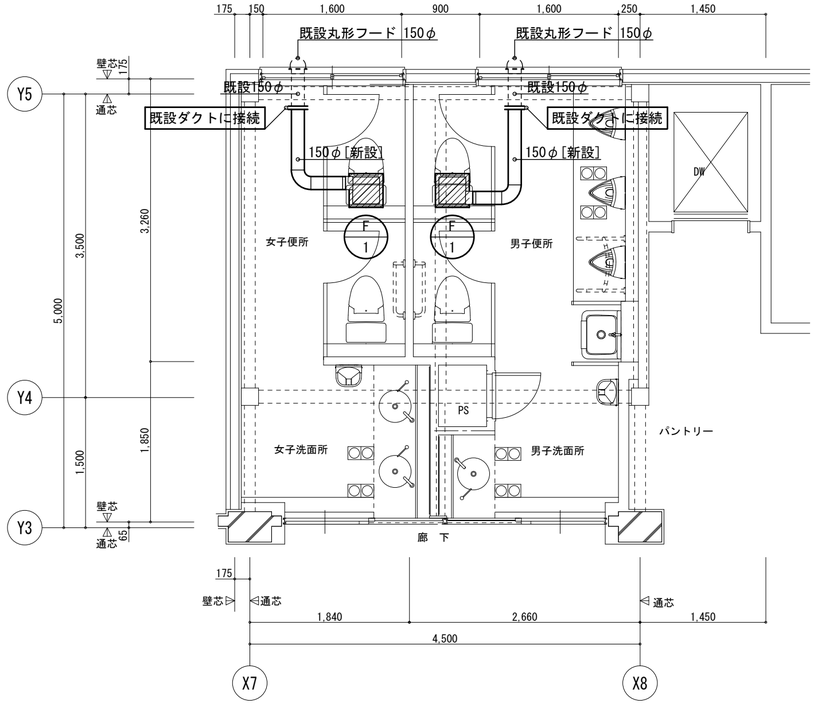
換気設備　１階平面詳細図（現況・撤去）　S=1/50



換気設備　１階平面詳細図（改修）　S=1/50



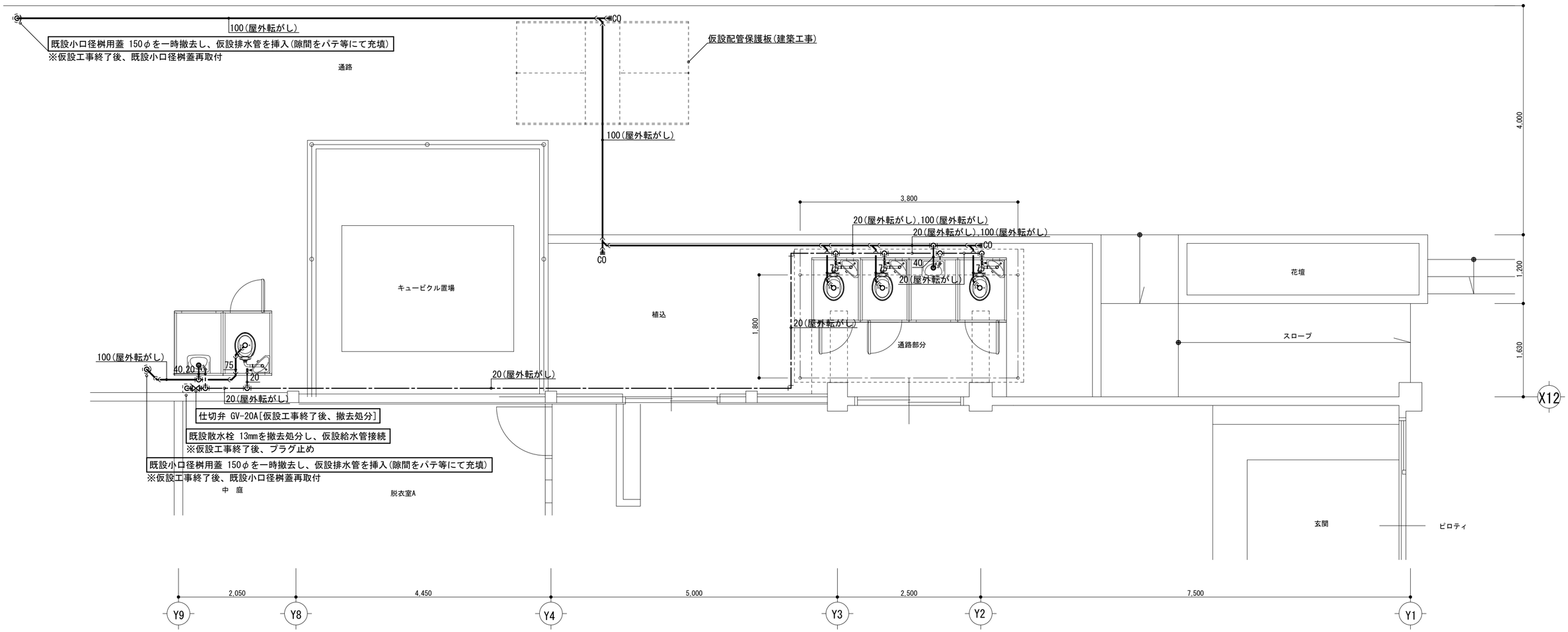
換気設備　２階平面詳細図（現況・撤去）　S=1/50



換気設備　２階平面詳細図（改修）　S=1/50

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和東町体験交流センタートイレほか改修工事	M-15	換気設備　便所平面詳細図(現況・撤去、改修)	1/50		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社　三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町 37の6　TEL (075) 761-6025



給排水設備　仮設便所平面詳細図　S=1/50

仮設　給排水設備　凡例

凡　例	内　容	管　種
———-·———	仮 設 給 水 管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
————	仮 設 雑 排 水 管	硬質塩化ビニル管(VP)
————	仮 設 汚 水 管	硬質塩化ビニル管(VP)

※仮設工事終了後、仮設配管はすべて撤去処分とする。

TITLE	NO		SCALE	CHECK	DATE
和束町体験交流センタートイレほか改修工事	M-16	給排水設備　仮設便所平面詳細図	1/50		

一級建築士事務所　管理建築士　三宅晃郎　第308903号
株式会社 三宅建築事務所
〒606-8386 京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37の6　TEL(075)761-6025